

久留米大学では、受診時に患者さんから取得された診療情報等を使用して下記の研究を行っています。本研究で使用される診療情報等は他機関への提供は行いません。

なお、下記研究は久留米大学の倫理委員会にて「社会的に重要性が高い研究」等の特段の理由が認められ、研究機関長の承認を得て実施しています。当該診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡下さい。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】 当院における重症大動脈弁狭窄症における外科治療戦略の変遷

【診療情報の対象者（研究対象者）】

- 1) 受診期間：西暦2014年1月から西暦2021年7月までの間に受診
- 2) 受診科：久留米大学病院 外科
- 3) 対象疾患名：大動脈弁狭窄症と診断され手術（大動脈弁置換術と経カテーテル大動脈弁置換術）を施行された方

【診療情報等の項目】

診療情報等：

年齢、性別、BSA 既往歴

術前血液検査（Hb, Alb, Crea, eGFR, NTproBNP 等）

心エコー結果、心臓カテーテル検査結果

手術時間、人工心肺時間、大動脈遮断時間、造影剤使用量、透視時間、出血量

使用した生体弁の種類、サイズ

術後挿管期間、ICU 滞在日数、術後在院日数

術後合併症の有無

生存日数、心血管イベントの有無、及び発生までの期間 等

【研究目的】

上記の診療情報を使用し、当院の大動脈弁狭窄症への外科的治療（大動脈弁置換術と経カテーテル大動脈弁置換術）を施行した方の患者背景、手術成績を検討して、重症大動脈弁狭窄症の外科治療の術式選択を考察します

【研究（利用）期間】 研究実施許可日から西暦2026年8月まで

【利益相反に関する事項】

本研究は特定企業からの資金援助はないため利益相反は発生しません。

【問い合わせ先】

研究責任者（使用する情報の管理責任者）：久留米大学医学部外科学講座 心臓血管外科部門 高瀬谷 徹

問い合わせ担当者：久留米大学医学部外科学講座 心臓血管外科部門 高瀬谷 徹

TEL：0942-35-3311（内線3542）

E-mail: [ttakaseya@med.kurume-u.ac.jp](mailto:ttakaseya@med.kurume-u.ac.jp)

研究番号 21152